

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		高知県立療育福祉センター 通園事業部		公表日		R8年 3月 2日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	13					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	13					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	13					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	13		・一人ひとりに合わせた落ち着けるスペース、環境を職員と保護者で一緒に考えて設定している。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	13					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	13		・個別支援計画作成、及び日々の療育においてPDCAサイクルをまわしている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13		・毎月スタッフ会を行い、職員間で話しあうことができている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	12	未回答 1				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	13		・研修や講演会などを受講している。自分が参加できていなくても報告会等の機会を設け、情報の共有をしている。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13		・HP、支援室掲示板にて公表している。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	13					
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13		・こどもの思いを大事にしながらか療育を実施している。 ・1人1人について、職員が検討し計画作成ができている。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	13					
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13		・支援前には打ち合わせを行い、チームでプログラムの立案・検討を行っている。			

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13		・毎年同じ活動ではなく、その年の子ども達に合わせたプログラムを考えている。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	13		・集団活動ではあるが、必要なケースにおいては個別に対応している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	13			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	13			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	13			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	13			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	12	未回答 1	・他の事業所へのコンサルテーションや、研修、等取り組んでいる。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	13			
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	12	未回答 1	子ども部会や専門部会へ代表者が参加している。	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	10	3	大半の利用者が地域の保育園・幼稚園に就園しているため、機会を設けていない。未就園の方については適宜、社会資源の情報を共有するなど相談・助言を行っている。	
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	13			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	13				
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13			・毎回相談に応じている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	13				・保護者のついでやきょうだい児の参加できる手話講座などを行い、横のつながりや障がいに対する理解を深めている。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13				
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	13				・学期ごとにおたよりを作成、支援室の掲示板にはイベントの写真を掲載している。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13				・マニュアルを作成して、事故のないよう努めている。 ・ヒヤリハットの共有や取り扱いのシステムを考えるなど留意している。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13				
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	13				
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12	1			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13				
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	13				
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	13				
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13				
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	13				
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13				・部内やセンター内全体で共有し、検討、対策を講じている。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13				・全職員が研修を受講している。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	13				

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 高知県立療育福祉センター通園事業部

公表日 R8年 3月 2日

利用児童数 R7年 12月 26日 回収数 26人 / 28人中

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25	1			・活動の目的に合わせて、ゾーニングされていると思う。 ・息子が好きな物をそろえてくれているので楽しく過ごせていると思います。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	26				・十分な配置数で、役割分担も適切にされていると思う。 ・先生方には息子に合わせた声かけなどもして頂き、本当に有難いと思っています。 ・人数が多いため手厚く感じます。 ・十分すぎるくらいです！ いつも誰かの目は届いていると感じます。適切だと思います。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	26				・とても子どもに分かりやすい環境になっていると思います。 ・視覚的な情報を取り入れ、子どもにわかりやすい環境であると思う。 ・次に何をやるのか分かるような空間作りをして下さっていると思います。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	26				・安心して過ごせる環境だと感じる。 ・床材も柔らかく、マットが敷いてあるので安心できる。 ・毎回、楽しく通園させてもらっています。	
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25	1			・こどもの成長に合わせて訓練を考えて下さってとてもありがたいです。 ・子どもをよく観察してくれており、特性に合わせた支援を行ってくれている。(保護者に対しても) ・子供の苦手な事も楽しんで取り組んでいるのでありがたいです。 ・息子の事を考えて色々な物を用意してくれていると思います。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25	1			・公表されているプログラムと一貫した支援内容だと思う。 ・定期的に説明もしてくださるので分かりやすく助かっています。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	25	1			・子どものことを考えてくれて、個別支援計画を作成してくれております。 ・上記のプログラムに準じながら、子どもの個性に応じた支援計画となっている。また、保護者の考えや思いも考慮した計画と感じる。 ・優先順位がつけづらい程子供に必要な支援が計画されていると思う。 ・この1年でできることが増え、成長を感じています。	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	25	1			・支援内容が具体的に設定されている。子どもの支援時の様子や家庭の様子を把握した上で、領域の中で苦手分野が獲得できるような機会を作ってもらっている。 ・本人（息子）だけでなく私達（保護者）の事も考えてくださっていて、すごく有難いです。	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25	1			・計画に沿って、支援をしてくれており日々色々な提案をしてもらっています。 ・子どもの変化に合わせた支援計画であり、計画に沿った支援が行われている。 ・支援内容を一回一回理解しやすく説明してもらっているので、どの計画に対応しているのかが分かりやすい。 ・色んな事ができるようになってきたのでそう思います。	

	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23	2		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な方針や目的は一貫しつつ、子どもの特性や成長に合わせた支援が行われている。</li> <li>・発達特性や本人の性格により、どうしても一部が固定されていると思うが不満はない。</li> <li>・その時の成長に合わせたプログラムになっていると思います。</li> <li>季節に沿った活動内容が考えられている。</li> </ul>		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	12	4	5	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園でもお友達や先生方と楽しく活動できています。</li> <li>参加したことがないので、あるかどうか分からない。</li> <li>他者と関わる機会がないため。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自閉症児、難聴児通所利用のお子さまの大半が地域の保育園や幼稚園に並行通園しているため、日常的に障がいのないお子さまと活動する機会はありません。</li> <li>・三通所とも親子への療育を目的としているため、直接的な交流は設けていませんが、利用児の地域でのよりよい育ちを支えるために、園と家庭と当事業所が連携していけるよう支援しています。</li> </ul>	
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25	1			<ul style="list-style-type: none"> <li>・きちんと時間をとっていただき、丁寧に説明をしていただいた。</li> <li>・いつも分かりやすく説明していただいています。</li> </ul>		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	26				<ul style="list-style-type: none"> <li>・とても分かりやすく説明をしてくれています。</li> <li>・ていねいに指さして資料を読んで頂きながら説明して頂いています。</li> </ul>		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	24	1			1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会等の案内は必要時あり、情報提供をしていただいている。</li> <li>・仕事等の都合でなかなか参加できていないですが、タイミング合えば参加したいです。</li> <li>・そういった機会があれば良いと思います。</li> <li>「福祉サービスについて」や「就学に関すること」などの研修会があった。</li> </ul>	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	25	1				<ul style="list-style-type: none"> <li>・困りごとにもすぐに、アドバイスをしてくれております。</li> <li>・こどもが新しくできた事をすぐ教えてくれ、いっしょによるこんでくれるのでとてもうれいす。</li> <li>・子どもの様子を気軽に報告できています。受容的に聞いてくれる為、とても安心感があります。</li> <li>・自分が余計な事(関係性が遠い事柄)を混ぜて話すので伝わらないうちもありません。</li> <li>・こちらの悩みや相談も聞いてくれて、一緒に考えてくださるのでうれいす。</li> <li>・何かあればすぐに相談にのってくれるので心理的負担が軽減されます。</li> </ul>	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	24	1			1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・質問したら、いっしょに考えたりなやんでくれてうれいすと思っています。</li> <li>・息子の普段の様子も聞いてくださるので相談もしやすいです。</li> </ul>	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25	1				<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの関わりでも、保護者に対しても否定的な言葉を使わず、プラスに捉えられるようサポートしていただいている。</li> <li>・先生方、みなさん、本当に優しく話しやすいです。</li> </ul>	
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	19	4	1		2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者会の機会を作っていただいている。</li> <li>・各通所で、年間を通して計画的に保護者同士の連携を目的に保護者研修会や保護者の集いを開催しています。また、療育・季節の行事等の中で、必要に応じてきょうだい児が参加できるプログラムの企画に取り組んでいます。今後もみなさまのご意見を元に支援を考えていきます。</li> <li>・就学前の交流会はとても参考になりました。</li> <li>・イベントの案内も頂きますが、こちらの都合で参加できていなくて残念です。</li> <li>・ポニーを卒業されたお子さんのご両親からお話を聞いたこと、手話教室できょうだい同士の交流ができたことは親としても、姉からしてもとても良かったです。</li> <li>・もう少し多くあればいいと思います。</li> <li>・父母の会の活動があるのかどうかは分からない。</li> <li>・運動会ではきょうだいのみ参加のプログラムもあった。</li> </ul>		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	25	1			<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の配置が十分であり、必要時相談ができる体制が整備されていると思う。</li> <li>・定期的に相談聞いてもらっています。</li> </ul>	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	25	1			<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚的サポート媒体、教材が豊富にあり支援の助けとなっている。</li> <li>・「このような時はこうすればいいよ！」など、子どもへの伝え方も教えてくださるので有難いです。</li> </ul>	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	20	1		5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的におたよりがいただけるので、他のお子さんの支援ややりとりも参考になっている。</li> <li>・SNSをしないので分からない。</li> <li>・おたより等も頂いているのでそう思います。</li> <li>・お手紙での通信が分かりやすく、特に写真やイラスト付きは助かります。</li> </ul>	・通園全体のことは、県庁ホームページに掲載しています。また、各通所で学期ごとにお便りを配布、療育室内の掲示板にて情報をお知らせしています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25	1			<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報の取り扱いには留意されていると思う。研修生の見学等もきちんと説明がある。</li> <li>・はい、思います。</li> </ul>	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	3	1	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアルや規定については策定されている事を契約時に説明してもらえた。実際の訓練についてはよくわからない。</li> <li>・マニュアル自体の周知はなかったと思います。</li> <li>・通知はともありがたいです。</li> <li>・以前に説明して頂いたので訓練はされていると思います。</li> </ul>	・ご利用されている方の利用（回数）に合わせた訓練にはなっていませんが、定期的にセンター内で職員を対象に、あらゆる非常災害の発生に備えた避難、救出訓練を実施しています。なお、保護者の方のご要望や訓練の必要性があるお子さまについては、保護者の方と一緒に実際の避難訓練の確認、避難方法や援助の仕方など支援の中で取り組んでいます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	2	1	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい、行われています。</li> <li>・ポニーだよりで訓練報告を見て、どのようにしているか様子を知ることが出来て良かったです。</li> </ul>	・安全計画についても適宜実施しております。引き続き、ご利用されるみなさまが安全に支援を受けられるよう職員一同で努めています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22	3		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの安全確保に関する計画について契約時説明をうけた。</li> <li>・安全に過ごせるようにしてくださっているの、毎回安心して通園しています。</li> </ul>	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	1		5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記同様</li> <li>・今の所はそんなことはないですがもしあっても、説明はきちんとしてくれると思います。</li> <li>・今までケガなど一度もなく、ていねいにみていただいているため。</li> <li>・経験したことがないので分からない。</li> <li>・事故や怪我をしていないので…もしあれば適切な対応がなされると思っています。</li> </ul>	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	26				<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもだけでなく保護者としても非常に安心感、信頼して通わせていただいています。</li> <li>・毎日、安心して通園しています。</li> </ul>	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	26				<ul style="list-style-type: none"> <li>・“える”のカバンを見せるといつも大喜びで行く準備をしているので楽しみにしています。</li> <li>・とっでも楽しみにしています。カレンダーを見て通所の日を心待ちにしています。通所した日は、その日の出来事を報告してくれています。</li> <li>・時々泣いて行きたがります。</li> <li>・とても楽しみにしていて駐車場からいつも小走りです。（笑）</li> <li>・ポニーへ行く道を通るたび、「ポニーいこうかね♪」とうれしそうに話しています。</li> <li>・とても楽しみにしています。親子で楽しめる機会をありがとうございます。</li> <li>・こじかでの活動を楽しんでいるし、頼れる先生たちが居てくれて心強いです。</li> </ul>	
	29	事業所の支援に満足していますか。	25	1			<ul style="list-style-type: none"> <li>・大満足です。いつもありがとうございます。</li> <li>・ごちらの事業所、職員の方と出会えて感謝しています。子どもが毎日楽しみにしている、喜んでいて、先生やその日の出来事を生き生きと話してくれる、それがすべての答えです。</li> <li>・とても満足しています。</li> <li>・とても良くしてくれています。</li> </ul>	

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	高知県立療育福祉センター通園事業部		
○保護者評価実施期間	R7年 11月 18日		R8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28名	(回答者数) 26名
○従業者評価実施期間	R7年 11月 18日		R7年 12月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 13名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 2日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・アセスメントに基づいた支援の提供・個々の特性に合わせ、子どもさんの強みを活かした支援を行っている。	・遊びを中心とした活動を通して、様々な感覚をつかい、人とのやりとりの心地良さが感じられるよう、個々に合わせた支援を行っている。 ・子どもさんの強みを活かした多様なコミュニケーション手段を活用し、支援の中で子どもさんが自ら意思決定できる機会の場を設定している。	
2	・親子通園のため、療育の中で子どもさんの成長と一緒に感じながら、子どもさんとの関わり方や支援方法を保護者が学ぶことができる。	・家庭でできる関わり遊びやコミュニケーションの取り方等を、支援を通して具体的に保護者へ説明している。 ・定期的に保護者と対話の時間を設け相談・助言を行い、子どもさんへの理解が深まるよう支援している。	・保護者から寄せられた声やアンケートでの意見を参考に、保護者のニーズに合わせた支援や行事の検討・実施に取り組む。
3	・医療、リハビリテーション、保育の専門職が保護者の方と連携を取りながら療育を行っている。	・各専門職員が多方面からアセスメントを行い、総合的な支援の検討を行っている。 ・支援を実施するにあたり、豊富な専門職員を配置して子どもさんの安全面・健康面の管理を徹底している。	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・利用者研修会、保護者の集いなど保護者向けの行事への参加者が少ない。	・就労されている保護者が多く、支援とは別日で研修に参加することが難しいと考える。	・保護者のニーズや興味のあるテーマについて、アンケート・聞き取り等で意見を仰ぎ、開催の方法や研修内容の工夫をしていく。
2			
3			